

●会期:3月25日(水)~30日(月)

## 佐藤 陽也 展 — いくつかの星の物語り — 〈洋画〉

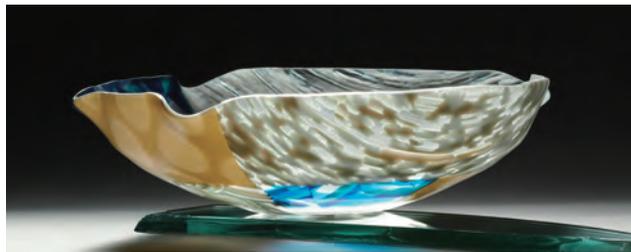


「いくつか」53.0×53.0cm (10号S)キャンバス・油彩

1981年福島県生まれ。第48回昭和会展松村謙三特別賞、第89回白日会展損保ジャパン美術財団賞会友奨励賞受賞。アトリエ21に所属する広田稔先生に師事し、現在人物画を中心としたダイナミックな世界観を表現しています。高島屋初個展となる今展では、「いくつかの星の物語り」と題し10mを超える大作を中心に30余点を一堂に展覧いたします。

## 鍋田 尚男 ガラス作品展

— 境界のゆらぎ —



「ゆらぎの時」42×H11cm(台別)

鍋田先生は1994年 武蔵野美術大学造形学部工芸工業デザイン学科を卒業。数百、数千のパーツを組み上げていくモザイクガラス。透明と不透明のガラスで織りなすガラスの色彩の無限性を追求して、日本の伝統文化や風土からの心象風景をガラスで表現しています。今展では地元の仙台秋保の岩と硝子を合わせた新たな作品も展覧いたします。

## 4月の予告

- 会期:4月1日(水)~6日(月) —  
松本 祐子 展〈日本画〉／木越 あい 展〈硝子〉
- 会期:4月8日(水)~13日(月) —  
人間国宝 藤塚 松星 展〈竹工芸〉／秋山 隆 木彫展
- 会期:4月15日(水)~20日(月) —  
古谷 和也 展〈陶芸〉／矢吹 沙織 展〈日本画〉
- 会期:4月22日(水)~27日(月) —  
鳥羽 美花 展〈染色〉／水野 咲衣花 展〈木工〉

# ART INFORMATION

「美」との出会いを提供して1世紀。暮らしに「アート」をお届けします。

## 横浜高島屋美術画廊のご案内

# 3月

March 2026



山田雄貴「降りそそぐ花」45.5×27.3cm(8号M) 紙本彩色

●会期:3月4日(水)~9日(月)

## 色の舟 — 日本画の場として —

◎美術画廊は毎週火曜、会場準備のため閉廊、最終日は通常通り営業いたします。

※都合により営業時間・催し内容が変更になる場合がございます。また、商品の販売中止・販売期間が変更になる場合がございます。

高島屋の美術

高島屋各店美術画廊・  
展覧会のご案内



横浜高島屋美術画廊のご案内は  
【公式】横浜高島屋美術画廊  
のInstagramでも  
ご覧いただけます。



●会期:3月4日(水)~9日(月)

## 色の舟 — 日本画の場として —

「色の舟」は学派、会派、世代を越え、日本画に真摯に向き合う画家8名が、日本画という伝統の美しさを継承しつつ、その枠にとらわれない自由な発想と新たな表現の場を生み出す目的で結成。次代を担う作家たちの挑戦と、これからの日本画の拡がり可能性を感じる作品の数々を一堂に展覧いたします。

【出品作家】(五十音順・敬称略)

青木 志子・秋葉 麻由子・阿部 エリカ・岩田 壮平  
木下 めいこ・木村 子子・竹原 美也子・山田 雄貴

山田雄貴「降りそそぐ花」  
45.5×27.3cm(8号M) 紙本彩色



■出品者8名によるギャラリートーク ●3月7日(土) ●午後2時から  
※ギャラリートークに関する情報は横浜高島屋ホームページをご確認ください。

## 唐津 小島 直喜 陶展



「昔唐津背美鯨」29×15×H15.5cm

唐津焼はざっくりとした粗い土を使い、素朴ながらも人々を惹きつける魅力を持っています。茶碗やうつわをはじめ、立体や厄除け面など小島先生による土味と造形、釉薬が織りなす唐津焼の多彩な表現をこの機会にご高覧ください。

●会期:3月11日(水)~16日(月)

## 沢田 光春 展〈洋画〉

シュルレアリスムの重鎮ポール・デルヴォーのもとで親炙した唯一の日本人画家、沢田光春先生の5年ぶりの個展。気迫漲る色彩とマチエール、超絶の技巧。本場ヨーロッパで鍛え抜かれ、功績に裏打ちされた「東洋のシュルレアリスム」と称される極上の絵画を一堂に展覧いたします。

「青き泡」130.3×130.3cm、  
キャンバス・油彩



●会期:3月11日(水)~16日(月)

## 吉田 喜彦 陶展

志野と瀬戸黒で人間国宝の故荒川豊蔵氏のもとで多くのことを学び、志野において吉田先生ならではの「かたち」を創作されました。また、白化粧による器に施されたしのぎや釉かけに先生の美意識が宿ります。卒寿を迎える吉田先生の想いが宿る作品をどうぞご高覧ください。



「志野鉄絵茶盃」13.5×H9.8cm

●会期:3月18日(水)~23日(月)

## 金物師 十六代 金谷 五良三郎 展

金谷家は寛永年間(1624~1644年)京都に創業以来、代々の技術保存とともに、技術の開発に努められ国内外の展覧会に出品、数々の賞を受賞され功績を残しています。2回目となる今展では、伝統を受け継ぐ水指、花入、建水、蓋置、菓子器等のほか、新たな表現の作品を加え、作品を一堂に展覧いたします。



「銀蠅流素」

■金谷五良三郎先生によるギャラリートーク

●3月18日(水)・21日(土) ●午後2時から  
※ギャラリートークに関する情報は横浜高島屋ホームページをご確認ください。

## 大庭 英治 展 — 色彩の饗宴 — 〈洋画〉

大庭英治先生は現在立軌会同人として精力的に制作・発表を続け、「記憶に残る情景」を基軸に幾重にも重ねられた色彩で光を内包した空間を表現されています。今展では「色彩の饗宴」と題し、春光さす抒情溢れる色彩の饗宴を大小様々な作品で展覧いたします。



「室内の情景」  
53.0×45.5cm、キャンバス・油彩